会員サイト公開用　役員活動報告書

名　前	高橋哲也
担当業務	副会長 令和８年度報酬改定対策強化推進部会　部会員 公衆衛生等理学療法業務構築・検討部会　部会長 DX 及び AI 推進啓発促進事業

内　　容			
日　付	他団体	会議名	場所
７月１日(火)		第３回業務執行理事会	Web
７月５日(土)		第４回理事会	協会会館
７月５日(土)		役員勉強会	協会会館
７月７日(月)		学会運営協議会調整会議	Web
７月 15 日(火)		常任理事会	Web
７月 15 日(火)		厚生労働省	厚生労働省
７月 26 日(土)		第１回理事懇談会	Web
７月 26 日(土)		学会運営協議会	Web
７月 22 日(火)		常任理事会	Web
８月 12 日(火)		常任理事会	Web
９月４日(木)		第８回公衆衛生等理学療法業務構築・検討部会	Web
９月６日(土)		第２回理事懇談会	Web
９月９日(火)		常任理事会	Web
９月 24 日(水)		第４回業務執行理事会	Web
９月 25 日(火)		常任理事会	Web
９月 30 日(火)		田村憲久 第 16 回社会保障勉強会	ホテルニューオータニ東京
所感	● 令和８年度の報酬改定を目前に控え、理学療法士の社会的役割を再定義し、持続可能な制度設計を進めるための議論が本格化してきた。副会長として「報酬改定対策強化推進部会」に参画し、急性期から在宅・公衆衛生領域まで切れ目のない理学療法サービスの評価体系を検討する中で、診療報酬の枠組みを超えた社会的価値創出の必要性を改めて感じた。特に疾病予防、重症化予防、地域包括ケアにおける理学療法士の機能を明確化し、政策提言へとつなげることが重要である。 ● また、公衆衛生等理学療法業務構築・検討部会では、理学療法士業務の「核」の設定に関する答申書を踏まえ、関係法令の改正に向けた具体的議論を進めた。第８回会議では、理学療法士が関与すべき公衆衛生活動やインプレッションフォーム採型業務など、既存制度の狭間にある領域の整理を行い、法学的な根拠づけと行政的整合性を検証した。これは、理学療法士が単なる治療専門職に留まらず、国民の健康寿命延			

	伸に寄与する「公衆衛生専門職」としての役割を担うための礎となる。 ● さらに、DX 及び AI 推進啓発促進事業では、理学療法のデジタル実装を社会実験的に進め、AI を活用した評価支援や遠隔リハビリの普及啓発のため、その方策を議論した。会員管理システム、生涯学習の DX については、私の担当外であり、当面は費用のかからない方法での会員への DX の情報提供を行う分掌が明確化した。会員に向けてホームページの素案を作成した。有効な活用、継続的な運用について公開の準備を進めていく。 ● こうした活動を通じて感じるのは、理学療法が医療の一分野に留まらず、「社会の健康インフラ」として機能する未来像である。協会・学会・行政の三者連携をさらに深化させ、制度・技術・倫理の統合を見据えた次世代理学療法の確立に向け、引き続き責任をもって取り組んでいきたい。
報告日	2025 年 10 月 21 日

※「他団体」に〇がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。